

史跡松江城整備基本計画の策定について

【史跡松江城における主な現状・課題】

松江城においては、石垣の孕み出し、サインの老朽化、倒木の発生、園路の老朽化といった課題があり、文化財価値の保存と来訪者の快適な利用環境の整備が必要な状況である。



▲腰曲輪石垣の孕み出し



▲サインの老朽化

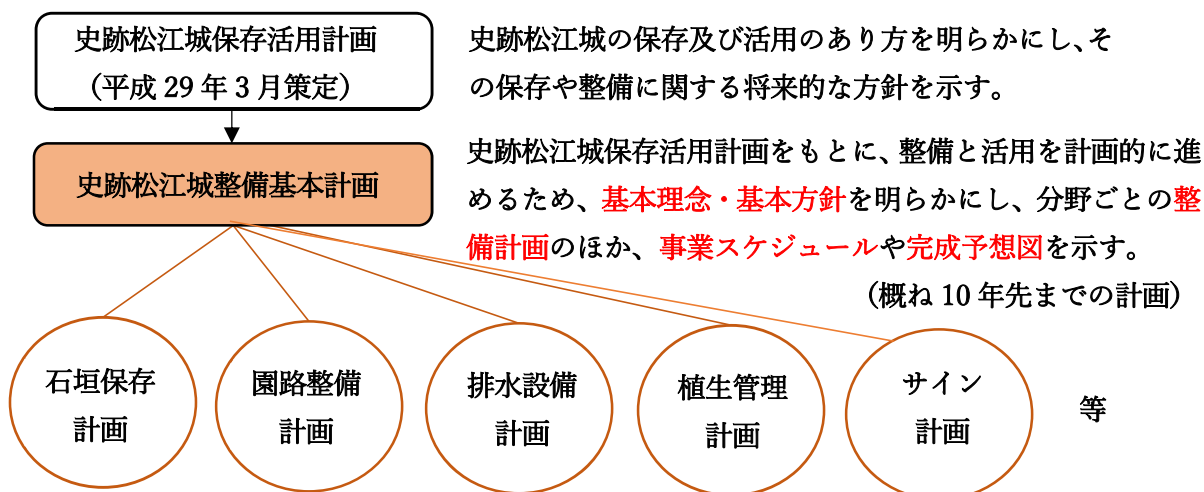


▲馬溜地区倒木(R6.6.23)



▲園路の老朽化

【事業概要】



【史跡松江城整備基本計画策定委員会 委員構成】

※既存の史跡松江城整備検討委員会を母体として構成

氏名	専門	所属
清水 真一	建築史	徳島文理大学文学部 教授 (史跡松江城整備検討委員会委員長)(松江城調査研究委員会委員長)
佐藤 仁志	植生	日本樹木医会島根県支部 支部長 (史跡松江城整備検討委員会委員)
高屋 茂男	城郭	島根県立八雲立つ風土記の丘 所長 (史跡松江城整備検討委員会委員)
松尾 信裕	考古	元大阪城天守閣館長 (史跡松江城整備検討委員会委員)(松江城調査研究委員会委員)
北野 博司	城石垣	東北芸術工科大学歴史遺産学科 教授 ※文化庁の石垣に関する協力者会議 副座長
杉 岳志	近世史	島根県立大学人間文化学部 准教授 (松江歴史館運営協議会委員)
井上 悦子	景観	アトリエマツダ代表 (松江市都市計画審議会委員)(元松江市景観審議会委員)

【令和 6 年度実施事業】

○第 1 回委員会(R6.10.18)

- ・目次構成とスケジュールの検討

○第 2 回委員会(R7.2.21)

- ・松江城の現状と課題の整理
- ・整備の基本理念・基本方針の検討



▲第 1 回委員会(現地確認)の様子



▲第 2 回委員会の様子

(1)整備の基本理念

- ・今に残る近世城郭・松江城の城郭遺構を守り伝える
- ・近世城郭・松江城の姿を可能な限り具現化する
- ・天守が現存する近世城郭・松江城の象徴性を表出する
- ・松江城に残る近代以降の歴史も尊重する
- ・歴史公園として安心安全で快適な環境を整える

(2)整備の基本方針

- ・確実な保存のための整備
- ・史跡の価値に基づく整備
- ・公開活用の利便性を高め、良好な景観形成に資する整備
- ・公開活用の安全性を高める整備
- ・都市構造の核として松江城の全体像を理解できるような整備
- ・市民の憩いの場、公園としての環境整備
- ・歴史的環境と自然環境が一体となった景観の保全

【令和 7 年度実施予定事業】

○第 3 回委員会(R7.9.16)

- ・整備計画(重点項目)等の検討

○第 4 回委員会

- ・事業計画、完成予想図等の検討

○パブリックコメントを実施予定

○第5回委員会

- ・計画書全体の確認



▲第 3 回委員会の様子

(1)史跡松江城整備基本計画の目次構成(案) (●)は本計画の重点項目

第 1 章 史跡松江城整備基本計画策定の経緯と目的

- 1 節 計画策定の経緯
- 2 節 計画の目的、期間及び対象範囲
- 3 節 委員会の設置及び策定の経緯
- 4 節 上位・関連計画との関係

第 2 章 史跡松江城を取り巻く環境

- 1 節 自然的環境
- 2 節 歴史的環境
- 3 節 社会的環境

第 3 章 史跡松江城の概要

- 1 節 史跡松江城の調査と整備の概要
- 2 節 史跡松江城の本質的価値と構成要素

第 4 章 史跡松江城の現状と課題

- 1 節 史跡松江城の概況
- 2 節 整備に関する地区区分
- 3 節 史跡の構成要素の現状と課題
- 4 節 公開活用に関する現状と課題

第 5 章 整備計画の基本理念と基本方針

- 1 節 整備の基本理念
- 2 節 整備の基本方針

第 6 章 整備基本計画

- 1 節 全体計画及び地区区分計画
- 2 節 整備計画
 - (1) 遺構保存計画
 - (2) 石垣保存計画 (●)
 - (3) 建物修復・復元計画
 - (4) 園路整備計画 (●)
 - (5) 排水設備計画 (●)
 - (6) 遺構表現計画
 - (7) 植生管理計画 (●)
 - (8) サイン計画 (●)
 - (9) 防災計画
 - (10) 管理・便益施設計画
 - (11) 公開活用施設計画
 - (12) 周辺環境保全計画
 - (13) 地域関連文化財等整備活用計画
 - (14) 整備関連調査計画
 - (15) 公開活用計画
 - (16) 管理運営計画

第 7 章 事業計画

- 1 節 事業推進体制
- 2 節 事業スケジュール
- 3 節 完成予想図